

## 歩行者用公共サインの整備について

### 1 目的

本市の都心部において、歩いて楽しいまちづくりを目指し、来訪者や市民の回遊性を高めるため、わかりやすく親しみやすい公共サインの設置を進めるもの。

### 2 公共サイン整備の概要

#### (1) 取組の全体像について

- ・ 公共サイン整備方針及びデザインや文字の大きさ等を定める技術指針等を策定中（18年度末策定予定）
- ・ 当面、平成19年3月の宇都宮城址公園のオープンに合わせ、都心部において歩行者用公共サインを先行して設置する。
- ・ 今後は、整備方針、技術指針等に基づき、公共サインを順次整備していく。（19年度から宇都宮駅東口地区において、整備に着手）

#### (2) 歩行者用公共サインについて

##### ア 基本的な考え方

- ・ 「わかりやすさ」や「おもてなし」をコンセプトとして、サインの基本的な役割である案内・誘導を重視し、情報をわかりやすく伝達していく。
- ・ 来訪者を対象とした、歩いて楽しいまちづくりをサポートしていく。

##### イ サインのデザイン

地場産材を使用することや市の独自性を考慮し、また、まちなかの回遊性を向上させることを目的として、市街地案内図タイプと矢羽根誘導板タイプの組み合わせとする。具体的な形状及びデザインは、別紙1のとおり。

##### 市街地案内図タイプ

- ・ 市街地の案内図を掲載することで、公共施設等の位置情報を提供する。
- ・ 伝統工芸の「黄鮒」や市の木である「いちょう」の黄色を、帯状にアクセントカラーとし、土台には地場産材である大谷石を使用する。

##### 矢羽誘導板タイプ

- ・ 公共施設や通り名称を標示することで、目的地への方向を案内する。
- ・ コントラストがはっきりするように、白地に青文字の記載とする。
- ・ JR宇都宮駅の既存の青色サインと連携し、歩行者系誘導案内サインシステムとして、色彩統一を図る。
- ・ 「道路愛称板」には、「黄鮒」のロゴマークを入れて親しみを持たせる。

### 3 平成18年度の整備概要

#### (1) 設置箇所数及び設置場所（別紙2のとおり）

歩行者の動線を勘案し、市街地案内図タイプと矢羽根誘導板タイプを、適宜組み合わせ、計9箇所設置。

#### (2) 整備完了予定

平成19年3月中